

令和8年度第1回鎌倉市環境審議会会議録

- 1 開催日時 令和8年（2026年）6月2日（火）午後4時から午後6時まで
- 2 開催場所 鎌倉商工会議所301会議室（委員は現地またはオンライン参加）
- 3 出席者 現地参加：植木委員、山ノ井委員、前田委員
オンライン参加：亀山会長、吉田委員、川口委員、小田委員
- 4 事務局 不破環境部長、山本環境部次長兼環境政策課担当課長、竹之内環境部次長兼環境政策課担当課長、桑原課長補佐兼担当係長、石川職員、大堀職員、内田職員

5 議題

- (1) 第4期環境基本計画策定状況及びスケジュールについて
- (2) 未来のビジョン（キャッチフレーズ）及び未来ビジョンマップについて
- (3) 行動指針について
- (4) 進捗管理手法について
- (5) 資料編及び行政取組編について
- (6) その他

6 報告事項 （1）その他

7 事前送付資料等

- 資料1－1 計画策定に向けたスケジュール
- 資料1－2 今回の協議対象（環境基本計画骨子（案）目次）
- 資料2－1 未来ビジョンマップ及びキャッチフレーズ
- 資料2－2 未来ビジョンマップ イラスト解説（イメージ）
- 資料3 行動指針（案）
- 資料4－1 進捗管理手法（案）
- 資料4－2 推進体制と進捗管理（案）
- 資料4－3 指標（案）一覧
- 資料5 資料編（案）
- 資料6 行政取組編（案）

8 会議内容

会議の進め方について事務局から説明を行い、会議及び会議録について公開すること、議題1の受託事業者である(株)創建担当者のオブザーバー参加についての説明、配付資料の確認後に議事に入りました。

亀山会長 議題（1）について説明をお願いします。

桑原課長補佐 「第4期環境基本計画策定状況及びスケジュールについて」（資料1－1、資料1－2）について説明

亀山会長 ただ今の説明についてご質問、ご意見があればお願いします。

(質疑なし)

亀山会長 議題（２）について説明をお願いします。

内田職員 「未来のビジョン（キャッチフレーズ）及び未来ビジョンマップについて」（資料２－１、資料２－２）について説明

吉田委員 資料２－１のイラストについて、動物は市に分布しているものですか。また、イラストのトビについて、尾の形状が的確ではないことから修正をするか、特定種ではないような描き方にするか、または厳密に描写したものではない旨を注記することが良いと考えられます。

竹之内次長 イラストの確認及び注記の記載を検討します。

川口委員 今回の審議会での確認が計画素案の確定に向けた最終確認になるスケジュールでしょうか。

山本次長 パブリックコメントの前に一度計画素案がすべて揃ったものを見ていただき微修正をするタイミングはあります。

川口委員 市がこの2050年のビジョンマップで何を一番打ち出していきたいのかという戦略を明確にした方が良く考えており、例えば和賀江島のように鎌倉でしか見られないものを選別するのがよいと思う。ビジョンマップでは、PRしたい部分を中心にして見せていくのか、全体的に見せたいのか等、方針はありますか。

山本次長 市民アンケートやワークショップでは今の鎌倉の環境を残していきたいという意見が一番多く、対応するイラストとしては海岸清掃活動などがこれにあたります。続いては、渋滞の解消や観光と地域の調和などが入ってきます。

川口委員 そういった方向性が分かるようなイラストや説明になると良いと思います。

植木委員 動物の描写については調整の余地があると考えます。また、植物に係るイラストについては、種による違いが分かるようにした方が良くのと、アジサイについては園芸種ではなく在来種を描くのが良いと考えます。絵をどこまで正確に表現するのか、またはイメージ図であると割り切るのかは方向性を出した方が良くと考えます。

竹之内次長 前回の審議会資料ではイラストの手前のページにイラストに関する説明があり、2050年にどのような鎌倉になるか、自分たちに何ができるのかということを考えていただくためのイメージ図であるという前提を記載していました。このイラストをどのようにとらえていただきたいか、分かりやすいようにしていきたいと考えています。

吉田委員 自然環境に係る内容に限らず、指摘されうる部分はあると思うので、イメージ図であるという注意書きは入れた方が良くと思います。

山ノ井委員 資料２－２の解説について、鎌倉やさいの記載はブランド化しているため括弧で囲み、「鎌倉みかん」の表記については、鎌倉やさいとは違いブランド化を行っていないため、こちらの記載まで括弧で囲むことは適当ではないと考えます。

小田委員 キャッチコピーに「未来へつなぐ」との記載があるため、子育てに関する要素が入っても良いと考えました。

亀山会長 子育ての要素については、本計画が「環境」基本計画であることを踏まえ、対応は事務局に一任します。

今回追加された資料２－２の作成意図について教えてください。また、今後追加する部分についてはどのような考えですか。

竹之内次長 前回審議会資料ではイラストごとに付番していましたが、イラストが増えたため、全てに付番すると視認性に支障をきたす恐れがあります。そのため、イラスト内ではなく別枠で解説を付ける手法の例示として今回の資料を作成したものです。また、イラストを見ただけでは意図がわかりにくいものがあるため、今後はすべてのイラストに対して解説を付す予定です。なお、生き物のイラストなどについては、個別に解説するのではなく、まとめて解説を付ける方向で検討しています。

亀山会長 今後すべてのイラストに解説が付くとなると、資料の情報量が相当なボリュームになることが予想されます。つきましては、次回審議会においては、限られた会議時間内だけでなく、閉会後であっても書面等で追加の意見を提出できるような体制等を整えていただくよう、事務局に対応をお願いできればと思います。

川口委員 解説を入れるにあたっては、市として大きくアピールしたい内容を上位に配置しプライオリティを明確にした方が見る側も意見が出しやすくなると思います。また、先ほどの事務局の説明にあった「イラストへの付番を外すかどうか」の判断については事務局の判断かと思います。最終的な資料の形を見ないと判断できない部分はありますが、同様の項目をグループ化するなど、見せ方を工夫していただくと良いと考えます。

前田委員 現在の資料２－２の解説については、現在の案のように詳細な説明を網羅すると、情報量が多すぎてかえって全体像が見えにくくなると感じます。市民が自ら未来のビジョンを想像し、イメージを膨らませるという観点からは、説明書きは極力シンプルであるべきと思います。例えば、「鎌倉みかん」とか「ごみのないまち」など、各項目については詳細を記載せずキーワードのみを示し、関心を持った人が自分で調べてもらうような形にしてはいかがでしょうか。

特に資料２－２の②の項目については、「ごみという概念がないまち」といった象徴的なフレーズのみを端的に記載する方が、より市民の興味を惹きつけることができると考えます。視覚的な分かりやすさと「もっと知りたい」と思わせる工夫を優先し、情報を絞り込む手法を検討してほしいです。

亀山会長 前田委員からのご指摘は重要です。本来、資料２－１の未来ビジョンマップのイラストを見て自由にイメージを膨らませていただきたいという意図があるのに、資料２－２のように細かな解説が並んでしまうと、受け手の想像力がそこで固定され、かえって萎縮してしまう懸念があるというご意見です。

亀山会長 資料２－１、資料２－２については今回の議論を踏まえ、情報の絞り込みや優先順位の付け方、さらには受け手の想像力を妨げない見せ方について、事務局で十分に再考し、次回に向けて調整を行っていただければと思います。

亀山会長 議題（３）について説明をお願いします。

桑原課長補佐 「行動指針について」（資料３）について説明

植木委員 自転車の利用に係る取組が示されていますが、鎌倉市の実情を考えると、道幅は狭く、店舗等に駐車スペースも十分に確保されていないなど、自転車が使いやすい環境にあるとは言えません。こうした現状を踏まえると、10年後であっても自転車を積極的に活用できる環境整備が実現しているかについては気になります。

また、ビジネスエリアの取組については、アップサイクル商品の販売の取組がありますが、それ以前にまずは「環境配慮型商品」を優先的に取り扱い販売する姿勢を打ち出すべきではないかと思いました。

川口委員 行動指針にイラストがあると、視覚的に理解しやすくとても良いと感じます。太陽光発電については、2035年という目標年次における技術の普及度合いとしては判断が難しい時期ではありますが、ペロブスカイトなどの「壁面の発電」について記載を検討してはいかがでしょうか。鎌倉市の景観を考えると、屋根上太陽光パネルをどんどん設置していく手法はすぐわなないと感じています。また、ビジネスエリアに記載されている「量り売り」については、どのような趣旨ですか。

山本次長 「身近な生活空間」のイラストにおいては、一部で壁面発電をイメージしていた箇所がありますが、より明確に伝わるよう描き方を検討します。また、量り売りについては市民ワークショップで出されたアイデアであり、過剰包装の削減、ごみの削減を意図したものです。

川口委員 過剰包装を避けるため、といった言葉が入ると分かりやすいと思います。

山本次長 行動指針の説明の項目で追加できるか検討します。

吉田委員 観光地のイラストにおいて、海岸沿いをバスが走行している描写がありますが、実際には海岸通りをバスが走行する路線はほとんど存在しません。このようなイラストがあると、これが「将来的に海岸通りにバスを通す」という市の今後の方針や計画であると誤解を招く恐れがあるのではないのでしょうか。

山本次長 ご指摘のとおり確かにイラストはそうなっていますが、このイラストは海岸だけでなく鎌倉の他の観光地の要素も詰め込んだイメージ図となっており、資料内には「市の特定の場所を示したものではありません」の注意書きも明記しており、あくまでイメージであることを説明できるため、大きな問題は無いと考えています。

小田委員 第5章（未来ビジョンイラスト）と第6章（行動指針イラスト）を入れ替えてもうまくいくのではないかと思います。

資料3の1ページ目の最下部にある「観光情報の活用」については、6から7ページを見る限り「環境情報の活用」ではないのかと思いました。6ページの「CO₂」については、数字の2を下付きにするか「二酸化炭素」と記載するか変更した方が良いと思います。7ページの17番「環境情報の提供」のイラストのワットの単位記号（W）の表記については大文字で記載するようお願いします。12ページの4番と12番は環境というよりはマナーに関する表記に見えるため、書き方を検討してはどうでしょうか。

山本次長 ご指摘の箇所は修正いたします。これまでのワークショップ等における市民の方の意見では、「観光客にマナーを守ってもらうことこそが、自分たちの住環境を守るために不可欠である」という意見が非常に多く寄せられたことを受けて記載したものです。来訪者と市民の共生が、結果として良好な生活環境の維持に直結するという考えから、あえてこの項目を入れたところです。

亀山会長 身近な生活空間の壁面の使い方について、「緑のカーテン」については最近猛暑で枯れてしまうなどの問題が出ているため、可能であれば削除しても良いと感じました。ビジネスエリアの自転車の表記については、道路の青いラインの他に、店舗側にも駐輪スペースを記載した方が良いと思います。また、事業者側の取組について記載されていますが、消費者側も例えば「エコバッグを使用する」とか「環境配慮型製品を選ぶ」といった記載をしても良いのではないのでしょうか。

観光地の取組についてあげられている、「マイボトルの給水」や「食べ切りに協力」といった取組は、観光客に限定されるものではなく、一般の市民にも共通する取組です。これらを「観光客向けの取組」という枠組みだけで捉えるのではなく、市民も含めたより幅広い主体の共通行動として位置付けるような書き方を検討してはいかがでしょうか。

植木委員 身近な生活空間のイラストにおいて、大きな建物のすぐ近くに小さな建物があるのは違和感があります。イラストの高い建物について、市の建築制限などを考えると階数を減ら

した方が自然ではないでしょうか。

山本次長 イラストに手を加えられるか、検討します。

亀山会長 議題（４）について説明をお願いします。

内田職員 「進捗管理手法について」（資料４－１、資料４－２）について説明

山ノ井委員 資料４－２にある「滞在者」とはどのような人を表しているのですか。

山本次長 観光客の他、通勤・通学などで鎌倉市を訪れる人などを示しています。

亀山会長 資料４－２のPDCAサイクルの図について、従来のサイクルから何が改良されたのか、本文を読んでも図を見ても十分に伝わりにくい部分があります。例えば、図の中に「１年ごとの短期サイクル」や「10年ごとの長期的なサイクル」といった時間軸を明記するなど、具体的にどの部分が新しくなったのかが視覚的に一目で分かるよう、書き方を工夫してみてもどうでしょうか。

竹之内次長 短期・長期など、期間の違いが分かる表記を検討します。

内田職員 「進捗管理手法について」（資料４－３）について説明

川口委員 クールシェアスポットとは何でしょうか。また、いくつかの指標で回数（アウトプット）が目標として挙げられているものがありますが、回数はアウトカムではないため、実施結果（アウトカム）のほうが重要ではないかと思います。

石川職員 クールシェアスポットとは、庁舎や図書館などの公共施設やスーパーマーケットやドラッグストアなどの民間施設を利用することで涼しさをシェアし、家庭などでの使用電力を減らすとともに、外出時の熱中症予防につなげようとする取り組みです。公共施設を18カ所、民間施設43箇所を指定して運用しています。

竹之内次長 指標案については、現時点では実施回数などの「アウトプット」と、その結果得られる「アウトカム」を評価しているものが混在しています。今後はこれらを精査していく中で、計画本編においては、より施策の成果を直接的に測ることができる「アウトカム」寄りの指標を入れたいと考えており、残る「実施回数」などの「アウトプット」寄りの指標については、行政取組編の評価である「かまくら環境白書」で使用し、状況を把握できるような形にしたいと考えています。

亀山会長 施策を多角的に評価することも大切ですが、評価指標の項目数が多すぎると、その把握や管理に要する事務の負荷が過大になってしまいます。形骸化を防ぐためにも、真に重要

なものを厳選して絞り込み、着実な実施が可能な範囲で指標を決定していただくようお願いします。

亀山会長 議題（５）について説明をお願いします。

石川職員 「資料編及び行政取組編について」（資料５、資料６）について説明

亀山会長 ただ今の説明についてご質問、ご意見があればお願いします。

（質疑なし）

亀山会長 議題（６）について説明をお願いします。

桑原課長補佐 「その他（今後の計画審議スケジュールについて）」（資料１）について説明

亀山会長 次回はパブコメ実施前における最後の審議になるため、非常に重要な回となります。委員が事前に内容を十分に精査できるよう、資料を早めに委員に送付いただき目を通す時間をいただきたいと思いますと考えています。

山本次長 次回は計画素案の全体像を示すことになり、資料のボリュームが多くなることが予想されます。できるだけ早期の資料送付に努めます。

亀山会長 次の議題、その他に移ります。事務局から説明をお願いいたします。

桑原課長補佐 本日の審議会の議事録の確認のご協力のお願いと今後のスケジュールについて説明

亀山会長 それではこれで審議会を終了とします。